



## 春の陽光の中に妖精が舞う

カタクリ自生地公開

No.5

3月下旬から4月上旬にかけて、総領町亀谷段畑にあるカタクリの自生地（土谷友幸さん敷地内）公開が行われました。

カタクリはユリ科の多年草で、種子から花が咲くまで7～8年かかり、地上に姿を見せる期間が短いことから、別名「春の妖精」といわれています。

自生地は、国道432号線沿いで、平成21年に市の事業で遊歩道が整備されたため、手軽にカタクリの観察が楽しめます。公開期間中には、町内外から多くの人が訪れました。

来訪者は、山裾から一面を覆う薄紫色のじゅうたんを敷き詰められたかのような光景に、魅了されていました。



▲かわいらしい姿で来訪者を魅了した

## 観光シーズンの幕開け

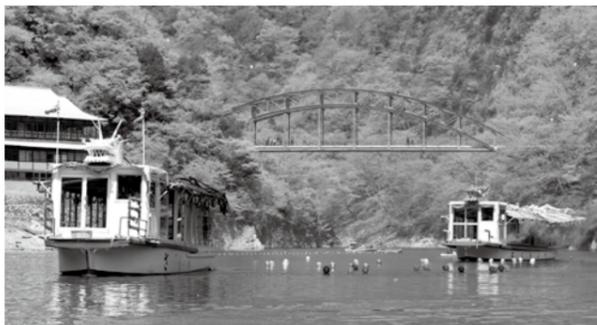
帝釈峡湖水開き・4/29

No.7

絶好の行楽日和の中、新緑が鮮やかな神龍湖畔で「第51回帝釈峡湖水開き」が行われました。

遊覧船乗場で、今シーズンの安全を祈願する神事が行われたほか、トレイルセンターしんりゅう湖前の広場では、比婆荒神神楽や鬼神太鼓などのステージイベントや、同時開催の新酒まつり、カヤックやツリーイングなどのアウトドア体験、宝探しなどの催しがあり、多くの観光客でにぎわいました。地元食材を使った料理などのフードブースも開設されていました。

神龍湖では、龍をかたどった龍船が紅白の煙を吐きながら登場すると、観光客から一斉に歓声が上がっていました。



▲龍船と国の登録有形文化財の神龍橋

## 風情ある城下町を散策

東城まちなみ春まつり・4/14～18

No.4

夢街道ルネサンス認定地区「街道東城路」の約600メートルの区間で、「東城まちなみ春まつり」が開催され、街道沿いの民家や商店に、各家に伝わるひな飾りや生け花、手作りの作品などが展示されました。

14日のオープニングセレモニーでは、東城中学校と東城高校の吹奏楽部の生徒たちによる演奏や銭太鼓の演奏などが行われました。

また、まつりの開催期間中には、東城高校の生徒の有志で組織される東城応援隊によるボランティアガイドも行われ、来訪者は城下町ならではの風情を楽しみながら、のんびりと街道を散策していました。



▲各家に伝わるひな飾りなどが展示された

## 秋の収穫が待ち遠しい

たかの体験 田植え・5/12

No.6

上高自治振興区が主催する「たかの体験 田植え」が高野町新市の宇山勝守さんの水田を借りて開催され、広島大学の留学生や府中市からの家族など7人が参加しました。

参加者は始めに苗の扱い方と植え方の説明を受け、裸足で水田に入り手植えや田植機の乗車体験をしました。田植機に乗車した参加者は、手植えと比べ物にならないほどの速さで整然と苗を植える様子に興味津々で、乗車中の様子をカメラで動画撮影していました。

田植えは初めてという台湾からの留学生鄭庭安さんは「裸足で田んぼに入って気持ちよかった。手で植える作業は本当に大変で、昔の人は苦労してお米を作っていたのだと身をもって感じる事ができた」と話していました。



▲田植機の乗車体験をする留学生（左）

## 吾妻山に春を告げる

比和自然科学博物館 草花ウォッチング！・5/6

No.1

若葉がもえ、すがすがしい吾妻山で、比和自然科学博物館主催の春の草花ウォッチングが行われました。時折小雨が降りましたが、昨年度を上回る約40人が参加し、吾妻山の自然に触れながら、講師の解説に聞き入っていました。

吾妻山の麓と吾妻山ロッジ付近の草花を観察し、吾妻山でよく見られるダイセンキスミレをはじめとする43種類の草花が確認されました。参加者は「群生しているオキナグサを見たのは初めて、実についている綿毛が本当にお爺さんの頭のように見え、名前の由来も良くわかりました。また、吾妻山のスミレの種類の多さにおどろきました」と話していました。



▲道路わきに群生するオキナグサを観察

## 農業体験で地域と小学生の交流

西城、美古登小合同とうもろこし種まき体験・5/10

No.3

西城町油木で食育教室の一環として、西城、美古登小学校合同のとうもろこし種まき体験が行われ、小学3年生の児童16人が参加しました。今回で10回目となったこの活動は、地域の方との交流、栽培の手順や食生活と健康の関連性について学ぶことを目的としています。

児童は、前油木営農組合長の高原芳典さんから今回植える品種のゴールドラッシュについて、植え方などを学んだ後、種を植えていきました。最初は慣れない手つきでしたが、地域の方の指導を受けながら、約1時間で6.7アールの畑に種を植えました。

参加した児童は「とうもろこしを初めて植えた。自分の家の畑でも植えてみたい」と話していました。



▲児童は種を一粒一粒丁寧に植えた



▲参加者は講師を囲んで説明に聞き入った



▲吾妻山ロッジ付近に咲いたダイセンキスミレ

## 森林の役割を学ぶ

口南小学校森林教室・4/27

No.2

口和町湯木にある釜峰山森林浴公園で森林教室が開催され、口南小学校の児童72人が参加しました。児童は、昨年度公園内に造られた木製の治山ダムの上に乗って広島北部森林管理署の職員から治山ダムの役割について話を聞きました。森林ボランティア「びほく・森のサポーターズ」の方から森林が果たす保水作用などについて紙芝居やクイズで学びました。びほく・森のサポーターズの方は紙芝居の中で「森林は水をつくり蓄える緑のダム。森林を大切にしないといけないと少しでも分かってもらえたら」と話しました。

その後、児童は大きなアベマキの木などに触れたり、山の動植物についての話を聞いたりしながら、元気に釜峰山を登りました。



▲治山ダムに触れながらダムを下りる児童